

鳥取労働局長によるベストプラクティス企業訪問

鳥取労働局長（丸山陽一）は、令和元年11月13日（水）、時間外労働の削減と年次有給休暇の取得促進に積極的に取り組んでいる「エプソンリペア株式会社（鳥取市南栄町26-1）」をベストプラクティス企業に選定し、企業訪問として、企業の取組を伺った後、労働局との意見交換・職場見学を行いました。

○取組の概要

- 1 時間外労働の削減
 - ・ 現場からの提案を取り入れ、細かい工程の標準化を進めることで効率化を図り、生産性を向上させることによる労働時間の短縮
 - ・ 毎週金曜日を一斉退社日に設定。また毎日の最終退社時間を21時に設定
 - ・ 事務部門におけるフレックスタイム制の導入
- 2 年次有給休暇等の取得促進
 - ・ 半日年休に加え時間単位年休（2時間単位×3日）を導入
 - ・ 時効で消滅する年休を60日分積み立て可能とし、特別休暇として本人の病気や育児・介護等に活用できる仕組みを導入
 - ・ 年休取得に際して理由を聞かない等管理職教育を徹底し、休暇を取りやすい環境を整備
- 3 取組実績（平成30年度実績）
 - ・ 時間外労働時間 : 13時間（月平均・1人当たり）
 - ・ 特別休暇を含む有給休暇の取得率 : 88.5%

☆ ワークライフバランスの実現への取組について社長様にお伺いしました。

風通しの良い職場を作ることが大事だと思っている。また、働きやすくするための様々な制度を導入しているが、制度を作るだけでなく実績を伴わなければならない。そのためには制度を身近なものにして利用できる環境を整えることが大事であり、形だけではなく具体的なところまで踏み込む必要があると考えている。そのため私自身（社長様）が、

- ・ 年に2回、方針説明として全社員（非常勤職員等を含む）の前で会社としての業務方針をプレゼンテーションしている。その際、ワークライフバランスに関して、制度についての目的や取組の達成状況について話し

ている。

- ・ 着任後は全社員（非常勤職員等を含む）と一対一で面談を行った。などの取組を行っている。

また、作業の標準化により個人の能力によるばらつきがでないようにしたり、有給休暇の取得時にはその理由を聞かないことを徹底するなどの工夫もを行っている。

これらの取組を進めることで、社員にとって働きやすい環境が実現するとともに、会社の業務の平準化が図られ、生産性も向上し、業績の拡大にもつながっている。

○企業訪問の様子



社員の皆さんと局長と。



会社様から取り組み内容の説明がありました。



働き方改革に対する社長様の思いを伺いました。



職場訪問もさせていただきました。職場の安全対策も取り組まれていました。